

4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会
開 催 日 時	平成28年11月9日（水） 19時30分 ～20時15分
開 催 場 所	市民総合センター3階 小会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：下田委員、小関委員、小山委員、宇津木委員、堀尾委員、佐藤委員、高佐委員、柳川委員、新井委員、五十嵐委員、田野倉委員、鹿取委員、内田委員、高齢・障害担当部長、高齢福祉課長、管理グループ主査、管理グループ主任 欠席者：河西委員、宮沢委員、渡邊委員 傍聴者：なし
議 題	報告事項1 委員の追加について 報告事項2 平成28年度第2回会議録について 議 題1 （仮称）在宅医療・介護連携支援センターの名称について 議 題2 在宅医療・介護連携推進に当たっての課題について 議 題3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	内田委員が新たな委員とされた。 施設の名称は、「在宅医療・介護連携支援センター」とされた。 普及啓発の手法の一つとして広報への掲載内容等の案を事務局から提示することとされた。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	開会 《報告事項1 委員の追加について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《報告事項2 平成28年度第2回会議録について》 事務局：説明 委 員：質疑なし 《議題1 （仮称）在宅医療・介護連携支援センターの名称について》 事務局：他市の状況、予算計上経費名等について説明。「仮称」を取って対応したい。 委 員：武蔵村山病院内の総合相談センターは残るのか。 委 員：残る。別館の2階に訪問看護、居宅、退院調整、認知症疾患医療センターなど全ての機能を取りまとめ、「みらい」という名称を付ける。市の組織として本センターも「みらい」に入る。情報共有が大事であるためそのようにした。 会 長：名称は、「在宅医療・介護連携支援センター」とする。

《議題2 在宅医療・介護連携推進に当たっての課題について》

事務局：説明。「地域住民への普及啓発」が一番遅れているのではないかと
との意見があったことから、「市報への掲載」のほか、効果的な
普及について議論願いたい。

委員：地域住民が見る媒体は何か把握しているのか。

事務局：市報、ホームページ、ツイッター・フェイスブック等のSNSが
考えられるが、何を目にしてしているのか調査はできていない。

委員：在宅医療・介護連携の普及とは、何を普及させるのが一番良いの
か。連携が重要なことは分かるが、何を普及させるのかが分から
ないとやりようがない。

事務局：冊子などによると「在宅医療を学び必要性を理解し必要時に選択
できる能力を身に付けること」とされている。

委員：住民への普及は、市民は医療と介護が連携して支える安心して暮
らせるシステムを作りつつあるということを知らせるという意味
がある。

委員：予算はどのように考えているのか。

事務局：現時点では特別な予算は確保していない。具体的な案が出れば来
年度に向けて予算化等の対応をしたい。

会長：市報の掲載内容は、どのような内容を考えているのか。

事務局：1月から開設するセンターの機能・役割や在宅医療を担う資源、
介護資源を順次お知らせする等も考えられるが具体的なイメージ
はできていない。

委員：経費をかけるのであればパンフレット等を作って市民に配布する
ことや市民講演会やセンター発足の記念イベントの実施などが考
えられる。規模と予算しだいである。

事務局：協議会の中で地域住民への発信の大枠ができればアイデアに沿っ
て市で企画していきたい。現状では予算の手だてもアイデアもで
きていない状況である。

委員：順番として企画を立ててから予算を組むのか。

事務局：予算にあった企画を立てるということも考えられるが、現状では
予算がない。パンフレット代として30万円程度であれば対応可
能と思われる。講演会などでは別途予算対応が必要である。ある
程度の方向性が決まれば市で作成案を考える等対応する。

委員：センターの対象者は、医療と介護の関係者であり市民ではないの
で、そのためのパンフレット作成はもったいない。そもそも優先
順位が一番高いのがこれなのか。

委員：他は手を付けているということだと思われる。

委員：介護保険事業計画等において市としての課題の把握や分析はして
いるのか。また何を普及啓発していくのかニーズ調査への対応な
ども考える必要があるのではないか。

《議題3 その他》

委員：「MCSの運用について」

医師会のICT委員会で対応の情報共有支援ツールの普及状況と
して、6月実績で登録メンバーが92、9月末で訪問看護ステ
ーション、ケアマネへの説明を行った。もう一つの課題のホーム
ページは作成中（「デェダラネット」は仮称）であり、市のホーム
ページからとんでショートステイの空き状況、ケアマネの対応可
能状況などを載せ、医療介護連携で見れるようにする予定であ
る。

	<p>委員：MCSの運用で変わったと思えること、目に見えての実感は。</p> <p>委員：個人的には医療機関として介護者側との連携がやり易くなった。連携強化に繋がっている。問題点は、ICTに取り残される人をどうフォローしていくか、さらに他の機関の登録と活用を促すことである。</p> <p>委員：登録患者数は増えているのか。</p> <p>委員：個人情報の関係で数は把握できないようになっている。</p> <p>事務局：「平成28年度第2回多職種連携研修会について」 平成28年度第2回多職種連携研修会は、平成29年2月25日（土）14：00から17：00まで、武蔵村山病院で「認知症」をテーマに実施する予定。また、前回同様、主催は武蔵村山市、武蔵村山市医師会、武蔵村山市在宅医療・介護連携推進協議会、共催は北多摩医師会、後援を東京都医師会として実施したいと考えている。</p> <p>《議題4 その他》</p> <p>事務局：次回は2月15日水曜日を予定している。</p> <p>会長：次回は2月15日（水）19時30分とする。</p> <p>事務局：次回はどのようなことを広報していくのか市としての案を提示することとする。</p> <p>終了</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： _____ 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">（</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： _____）</p> <p><input type="checkbox"/>非開示（根拠法令等： _____）</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>健康福祉部高齢福祉課（内線：632）</p>
--------------	---------------------------

（日本工業規格A列4番）